平成28年3月31日現在

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
1	自社栽培野菜を利用したカット野菜の製造・販売事業	自社生産のチンゲン菜、グリーンカールに加え、新たに生産するロメインレタス等の葉物野菜を原料に、新商品のカット野菜（サラダ用、炒め用）を製造し、食品会社へ卸売を行う。 事業の拡大により増大する規格外品もカット野菜に加工することで付加価値を高め、収益の向上と地域の雇用創出を図る。	有限会社蔵王グリーンファーム			宮城県	白石市	平成27年9月
2	自社生産した野菜を活用した加工事業（漬物、カット野菜、冷凍カット野菜）及び販売事業	耕作放棄地の解消と自社で発生する鶏糞を使用して生産する野菜の収量の増加とコスト削減を図るとともに、漬物、カット野菜、冷凍カット野菜を製造し、食品販売事業者や地元学校給食等への販売を行い、雇用の創出と経営の安定化を図り、農業経営の改善を目指す。	有限会社折林ファーム			秋田県	由利本荘市	平成27年9月
3	自社生産の大根を原料に、自然素材にこだわり、地域の伝統的な製法を活用した商品の開発及び販売事業	自社及び委託で生産する大根を原料に、食品添加物を使用しない自然素材にこだわった食べきりサイズの新商品（いぶり大根漬、いぶり大根漬スライス）を開発し、取引先であるコープあきた等へ販売するほか、インターネットでの販売を行うことで、新たな雇用の創出と経営の安定を図る。	有限会社ゆめ企画須藤健太郎商店			秋田県	羽後町	平成27年9月
4	地場産野菜のペースト状加工商品等の開発・販売事業	自ら生産する野菜、大豆を原料に、ペースト状の野菜冷凍加工品（にんじん、カボチャ、ブロッコリー）及びクラッシュ状の冷凍大豆加工品を開発し、学校給食、病院・介護施設、食品加工業者等への販売に取り組み、地元農産物の付加価値の向上と生産、販売の拡大を図る。	農事組合法人たねっこ			秋田県	大仙市	平成27年9月
5	自社牧場の黒毛和牛を使用した牛肉の加工・販売事業	自社で飼養する繁殖牛のうち、不妊牛や繁殖に適さない牛に独自にブレンドした飼料を給餌して肥育を行い、食肉用に精肉加工して消費者に直接販売することで、付加価値を高め、所得の向上と雇用の拡大を図る。 この取組により、市場出荷しても安価となる不妊牛や繁殖に適さない牛を繁殖農家自らが肥育し、収益性の高い精肉の加工・販売までを行うことで、畜産経営に付加価値を取り込み、経営の多角化・安定化を目指す。	有限会社ビッグファーム			宮崎県	都農町	平成27年9月
6	イチゴの観光農園開設と、イチゴの新商品開発・製造・販売事業	自ら生産するイチゴを用いて観光農園を開設するとともに、イチゴドライフルーツ、イチゴゼリー菓子、イチゴピューレの商品開発・製造を行う。観光農園の一部は車いすの方でも摘み取りができるようにバリアフリー化を行い、新商品は道の駅など既存の販路を活用するほか、新たにインターネット販売も行う。 この取組により、農業経営の多角化を図り、所得を向上させるとともに、観光客の誘致による地域の活性化を目指す。	橋口　昭太郎			宮崎県	日向市	平成27年9月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
7	食の安全に関心のある消費者を対象に、有機栽培のトマトや野菜を使用したオーガニックジュース・離乳食の開発・製造・販売	自社の有機JAS認証野菜を用いて、「プレミアムトマトジュース」「ミックス野菜ジュース」「トマト離乳食」「ミックス野菜離乳食」の製造・販売を実施する。 新商品の販売については、既存販路の他、新規の販売先として幼児服店、道南の産婦人科や小児科、高齢者福祉事業所等に向け営業活動を行っていく。	株式会社しみず農園			北海道	北斗市	平成27年10月
8	自社産さつまいもを用いた「焼き干しいも」と「冷やし焼きいも」の開発・販売事業	自社生産のさつまいもを用いた新商品（「焼き干しいも」、「冷やし焼きいも」）の開発・製造を行い、付加価値の高い農業経営と所得の向上を目指す。「焼き干しいも」は、焼いたさつまいもを天日干しにし「もっちり・しっとり」の新食感な商品で、高い品質を求める女性をターゲットに高級スーパー、インターネットで販売する。「冷やし焼きいも」は、移動販売車を夏季も有効活用し、夏でもひんやりとしたデザート感覚の焼きいもを値頃感のある新しいスイーツ商品として、子どもからお年寄まで幅広い年代を対象に販売し、リピーターを増やす。	株式会社和みの杜			栃木県	さくら市	平成27年10月
9	自家生産はちみつと地元農家のフルーツを用いた「さとの果実（果物のはちみつ漬け）」の開発・販売事業	自家生産したはちみつを原料に、地域の農家が生産した果物(いちご、ブルーベリー、うめ、ゆず）を用いて「果物のはちみつ漬け」の製造・販売を行う。健康志向の方や高齢層を主なターゲットとし、既存の直売所での小売販売のほか、外食店や観光施設等への卸販売を実施することにより、自園の知名度やブランド力を高め、所得の向上を図る。	島田養蜂園 島田　誠一			栃木県	壬生町	平成27年10月
10	自社生産の本生黒きくらげを活用した商品の開発・販売事業	自社生産の本生黒きくらげを用いた「本生きくらげわさびあえ」の製造・販売を行い、生産・加工・販売の一貫体制を構築する。健康維持に関心のある中高年層、美容に高い意識を持つ女性をターゲットに、既存の販売チャネルを活かした高級スーパー、ホテル、直売所、インターネットでの販売により、付加価値の高い新商品を販売し、更なる経営発展を図る。	有限会社那須バイオファーム			栃木県	高根沢町	平成27年10月
11	フルーツ入りハーブティーの開発・販売	自家生産したハーブ（カモミール・ミント・タイム・マロウ・ラベンダー）・なし・もも・すももを使用し、果物本来の風味と甘さを閉じ込め、ハーブの芳香漂うフルーツハーブティーの開発・製造を行い、自社ジェラートショップに来店する女性をターゲットにした販売を行うことで、更なる経営の発展を図る。 直売店では、販売動向を見ながら商品をブラッシュアップし、地元の道の駅・直売所・量販店等への販路拡大を目指す。	山木農園 山木　久利			群馬県	高崎市	平成27年10月
12	自家生産キノコの総菜製造と販路開拓	顧客である量販店から、当園の生鮮きのこが消費者から高評価を得ており、生鮮きのこ以外にきのこを加工した惣菜商品の要望があることから、自家生産きのこ（しいたけ・きくらげ・あわびたけ）を原料とした新商品を開発・販売し、経営の更なる発展を目指す。 新商品の開発にあたっては、顧客量販店担当者と相談しながら商品化し、販路の開拓に繋げて行く。	桐生きのこ園 中島　崇			群馬県	桐生市	平成27年10月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
13	中山間地域の自立、活性化に向けて下仁田農産物を活用した加工品開発及び販売事業	当園で生産するやまうどは顧客から高評価を得ており、惣菜としての商品化の要望があることから、やまうどと併せて当園で生産しているしいたけ・こんにゃく・下仁田ねぎを使用した新商品の開発・販売を行う。 本事業により、下仁田特産物の付加価値を高め、経営の更なる発展と地域活性化を目指す。	神戸農園 神戸　康明			群馬県	下仁田町	平成27年10月
14	自家生産マイタケ加工品の開発・販売	生産したまいたけの出荷にあたり、出荷重量に合わせるために切り落とした部分を用いた新商品パスタソースの製造・販売を行うことにより、経営の更なる発展を目指す。既存顧客である宿泊施設等からは、まいたけの風味を最大限発揮したパスタソースの開発を依頼されていることから、自家生産である強みを生かし、収穫したての新鮮なまいたけを使用することで、商品の優位性を高め、販売の拡大を目指す。	尾瀬きのこセンター 萩原　和典			群馬県	利根郡片品村	平成27年10月
15	自家産さつまいもを活用した加工品の製造と通年販売事業	自社生産のさつまいもを用いた新商品（冷凍焼きいも、スイートポテト、けんぴ、プリン、かき氷シロップ、アイスクリーム）の開発・製造を行い、自社店舗、インターネット販売のほか、地域のイベントにも積極的に参加して販売を行う。商品アイテムの増加とともに農地を借り入れ栽培面積を増やし、通年販売が可能な体制とし、経営改善を図るとともに雇用拡大を目指す。	TATA GREEN 株式会社			埼玉県	熊谷市	平成27年10月
16	渥美半島産のミニトマトを原料とした果肉たっぷりジャムの製造・販売事業	ミニトマトジャムの開発・製造を行い、消費者の関心をより高めて喜美農園ブランドを確立し、農業経営の改善・安定化、収益性の向上による経営の改善を図る。	宮本喜弘（喜美農園）			愛知県	田原市	平成27年10月
17	伊賀米と野菜を使った加工品開発及びアンテナショップを活用した販売事業	自社で生産する米や野菜を使っておむすび、ポン菓子、米粉、漬物等を加工製造し自社店舗や直売所で販売を行う。	株式会社 アヤマNOSAN			三重県	伊賀市	平成27年10月
18	自然栽培野菜のおいしさを伝えるピクルス、ドレッシングの製造・販売事業	漬物製造のノウハウを活かし、人参、大根を中心とした自然栽培(肥料、農薬等を使用しない)野菜を楽しめる加工品を開発・製造・販売する。 地域ブランドとして飛騨高山ピクルス、飛騨高山ドレッシングをリリースすることにより国内旅行者およびインバウンド需要に対応し、“ご当地”商品の一つとして浸透していくブランド化の取り組みを行う。	与嶋　靖智 (飛騨高山よしま農園)			岐阜県	高山市	平成27年10月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
19	井上農園のお米を利用したグルテンフリー米麺の開発・販売事業	自ら生産したお米を利用したグルテンフリー米麺の開発・販売を行う。具体的には、3大アレルゲンともいわれる小麦成分を全く含まない精米100%で作る半生麺で、小麦アレルギーを持つ人でも食べられる麺を販売する。 自身の子も乳児の頃から小麦アレルギーを発症し、グルテンフリーの食材を選んで購入していた経験があることから、グルテンフリー米麺を小麦アレルギーを持つ乳幼児とその母という新たな販売市場を開拓し、現在、収益の主となっている有機野菜の売上向上にもつなげ、農業経営の改善を図る。	井上農園 井上　陽平			兵庫県	丹波市	平成27年10月
20	淡路島キンセンカ(カレンデュラ)のドライ加工・販売事業	自ら生産するキンセンカを無農薬で栽培し、手摘み花びらを乾燥させることによりキンセンカのドライ加工及び新たな販売ルートを構築する。 キンセンカについては、ヨーロッパではハーブとして食用や皮膚治療薬等の原料で広く使われていることから、新たに開発する商品については、食品やコスメの原材料に適した商品となるよう開発し、淡路島内の直売所やホテル・レストラン等へ販路の拡大を図り、農業経営に付加価値を取り込むことで農業経営の改善や所得の向上を目指す。	廣田農園 廣田　正弘			兵庫県	淡路市	平成27年10月
21	自家栽培の南高梅を利用した梅レアチーズケーキの開発・販売	自ら栽培している梅を一次加工品として出荷しているが、販売価格の低迷している二次加工業者向け商品の出荷量を減らし、その分を、自ら整備した加工場で、「当農園が生産した梅を用いて、生産から加工品の製造及び販売まで一貫して行う商品」として梅レアチーズケーキを開発する。 梅農家が作る梅スイーツであることをPR材料として梅の価値を高め、梅関連の売上や農林漁業及び関連事業の所得の向上を目指す。	岩本農園 岩本　辰一			和歌山県	田辺市	平成27年10月
22	有機JAS認証梅加工品の開発及び国内外販路開拓事業	当社の代表取締役である深見晴彦が栽培した有機JASの梅及び当社の有機JAS認証加工施設で、有機JAS梅干し、有機JAS梅シロップ、有機JAS梅酢、有機JAS梅肉を開発する。それらの商品は当社の直売所及びネット通販による直販、食品卸売会社への卸売販売を行う。 特に、EU及びアメリカではオーガニック商品に対する関心が高く、前述の新商品をEU、アメリカにも販売することで、当社の収益性を向上を目指す。	有限会社深見梅店			和歌山県	西牟婁郡上富田町	平成27年10月
23	鶏卵と地域産品を品揃えした地元密着型直売店の開設	同社は、約9千羽の鶏を飼育、年間約180tの鶏卵を生産し、飲食店への卸売販売や顧客への通信販売、鶏卵メーカーへの原卵販売を行ってきた。しかし、販売先が固定化しており、一定以上の品質を有する卵の約50%は、収益性の低い原卵で提供せざるを得ない状況にあり、生産規模に限りがある中で、収益性を向上させることが課題となっている。 本事業では、収益性の低い原卵の出荷を減少させ、自社敷地内に開設した直売所で地元消費者に直接販売すると共に、地域産品を豊富に品揃えした店舗とし、売上げの向上を目指す。	株式会社 めぐみ			岡山県	浅口市	平成27年10月
24	自社ブランド豚「参協味蕾豚」を利用したレストラン事業及び加工品の直接販売事業	自社生産した自社登録ブランド豚肉「参協味蕾豚」を使用したメニュー及び加工品を開発し、大消費地で賃貸借により改築し、直売ブースを併設したレストランで提供する。 この取り組みによって、自社ブランドである「参協味蕾豚」の認知度アップと直販体制を確立し、経営の多角化と安定化及び雇用の拡大を図る。	有限会社ミヤザキインダストリー			宮崎県	児湯郡川南町	平成27年10月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
25	自社構成員が生産する玄そばを発芽させた「発芽そば粉」の開発・加工・販売事業	自社構成員が生産した玄そばを原料にして、そばの風味を生かしつつ、栄養素（ギャバ、ルチン）が増大するよう工夫した「発芽そば粉」を開発・製造する。 既存取引先のそば店を中心に、道の駅、インターネット販売を行い、経営の安定を図る。	株式会社 村にあるものを ねっぷえいど			北海道	中川郡 音威子府村	平成27年11月
26	大江町に古くから伝わる「山の恵の三役果実酢」シリーズ（山葡萄・マタタビ・サルナシ）の果実酢の開発・販売事業	自家生産の山葡萄、マタタビ、サルナシを原料に、健康志向の方を対象として静置発酵法による長期熟成の果実酢の開発・製造を行い、地元のデパート、酒卸問屋等に販売し、果実の付加価値化による所得の向上と地域ブランド化を目指す。	鈴木　茂			山形県	大江町	平成27年11月
27	自社生乳を使用したヨーグルト・チーズの開発・販売	牧場に訪れる来訪者を対象に、自社で生産した新鮮な生乳を使用したチーズ製造体験サービスを実施したところ、チーズの製造販売を依頼されたことから、国内外のチーズ製造所で習得した技術・知識を生かし、各種チーズとチーズと同じ乳酸菌で製造するプレーンヨーグルトの商品開発を行い、新たに整備する直営売店のほか、観光施設、農産物直売所で販売することにより、自社ブランドの確立と経営の更なる発展を目指す。	株式会社人間牧場			群馬県	吾妻郡 長野原町	平成27年11月
28	金子牧場で生産された生乳を利用した商品の加工・販売事業	自社で生産した新鮮な生乳を活用した新商品（ノンホモ牛乳、ソフトクリーム、ヨーグルト、チーズ、アイスミルク）の製造を行い、地元の顔の見える酪農家として、新たに直営売店を設置するほか、卸売業者と協力し、レジャー施設等の大規模集客施設、地元産食材へのニーズが高いホテルをターゲットに販路の拡大を目指すことにより、所得向上と雇用創出を図る。	金子牧場合同会社			千葉県	佐倉市	平成27年11月
29	「りんご」生産地のワイナリーという強みを活かしたアルコール飲料の商品開発及び販売による地域ブランド化事業	先行発売したフランス語で開拓者、先駆者を意味するピオニエの名を冠したピオニエシードルの売れ行きが好調であったため、新たにシャンパンの製法と同様のトラディショナル方式による原料の高付加価値化を図った「ピオニエシードルプレミアム」、「ピオニエブランデー」（アップルブランデー）の製造・販売を行うことにより、経営の更なる発展を目指す。直営店、地元の酒店、飲食店のほか、ホテルや結婚式場での乾杯用として売り込むとともに、観光客への販売を足がかりに販路を全国へ拡大し、果樹産業を盛り上げることにより地域の活性化と発展に寄与する。	信州まし野ワイン株式会社			長野県	松川町	平成27年11月
30	桑葉、桑の実、繭、蛹を使用した加工品の製造・販売事業	桑の葉を使った桑茶や桑の葉の粉末（パウダー）、原料に桑の葉パウダーを使用したお菓子、まゆ人形キット等の製造・販売を行うとともに、新たな販売ルートを構築することによって、農業経営及びNPO法人経営の多角化・高度化を図り、収益力を高めることで、補助金・助成金に依存しない団体経営を進める。	NPO法人マルベリークラブ中部			愛知県	名古屋市	平成27年11月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
31	自社生産した岡山甘栗を原材料にした「むき栗・焼き栗」の製造販売	平成27年４月に、岡山甘栗（注）の生産から加工・販売を行う目的で有限会社アグリマスターを設立。 本事業では、岡山甘栗の「渋皮が剥き易い」、「甘みが豊か」といった特徴を生かした「むき栗」及び「焼き栗」の製造・販売を行い、生栗よりも付加価値の高い加工食品の事業化に取り組み、売上向上と年間を通した収入の安定化を目指す。 （注：岡山１号、岡山2号、岡山3号を総称し岡山甘栗と呼んでいる。）	有限会社アグリマスター			岡山県	勝央町	平成27年11月
32	自らが栽培したぶどうと桃を対象とした新販売方式の導入	自ら栽培する桃・ぶどう等を自宅で直売することで、系統出荷に頼らない経営体の構築をすすめてきたが、無店舗での販売では売上向上が難しい状況となっていた。 本事業では、新たな顧客を獲得するために直売所を建設し、お土産や進物用等、高級果実を販売する店舗として、一般の直売所とは一線を画した店舗を目指し、売上の向上、収益の安定化を図る。	市川　俊美			岡山県	岡山市	平成27年11月
33	貯蔵技術を活用した日向夏のインターネット販売と日向夏加工品の販売事業	自から生産する日向夏を使用したジュース、グラッセ、マーマレードの商品開発・委託加工を行う。新商品の販売は、港の駅などの直売所やインターネットで販売する。また、日向夏生果は、貯蔵技術を活用し販売時期を遅らせることによって有利な時期に販売を行う。 この取り組みによって、農業経営に付加価値を高め、所得の向上と経営改善を図る。	倉元　陽造			宮崎県	日南市	平成27年11月
34	十三浜の「わかめ・こんぶ」を活用した商品の加工・直接販売事業	自家産のわかめ・こんぶの茎等の部位を用い、新商品（ふりかけ、米粉麺、雑貨用ソルト）を開発し、県内の道の駅、自家経営の食堂、雑貨店等で販売し、高付加価値化と所得向上による経営基盤の強化を図る。	西條　幸正			宮城県	石巻市	平成27年12月
35	芳香性植物の農薬を低減したコンテナ栽培、香りの抽出・加工による「香りの花木」の販売	自ら生産する香りの高い花木から香り成分を抽出し、ビーズに固定化したものと、香りの元となる花木とセットで販売することにより、開花期以外に香りを楽しめるとともに、開花期の香りを待つ喜びを付加した商品を開発・販売し、新たな価値を提供することによる需要及び販売時期の拡大により、経営の安定を図る。	農事組合法人安行グリーン			埼玉県	川口市	平成27年12月
36	自社及び生産者とのネットワークにより栽培された農畜産物を使ったお土産品の開発・販売事業	当社及び連携事業者が生産した農畜産物を「MIKAWA　FOREST」としてブランド化し、新東名高速道路のサービスエリア「NEOPASA岡崎」でお土産品として販売することで、農畜産物の安全性と信頼性を確保しながら雇用の増加を目指す。	株式会社とよたん本舗			愛知県	豊田市	平成27年12月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
37	生産から加工まで管理された「あいち知多牛」のさまざまな部位を活かした商品の製造・販売事業	あいち知多牛を有効に活用し、冷凍コロッケ、冷凍ハンバーグ、筋肉の加工品の開発・製造・販売を行う。また、加工品の製造販売だけでなく、肉牛の生産拡大により、より一層の牛肉販売に努め、新たに雇用を創出し、経営を安定させる。	大岩　智（牛小屋）			愛知県	知多郡 南知多町	平成27年12月
38	こんにゃく芋を使用した手作り加工食品の製造、販売事業	自ら及び地域の生産者が生産している「こんにゃく芋」を原料として「手作りこんにゃく」「蒸しこんにゃく」を製造・販売する。製造するこんにゃくについては、柔らかい食感が特徴の「黒木の手作りこんにゃく」として、地元の直売所「よってみゅうか　えびねの郷」に加え、周辺地域の直売所でも販売する。 この取組により、地域への来訪者を増加させ地域活性化を図ると共に、自らの農業経営の改善を図る。	栗山　秋義			長崎県	大村市	平成27年12月
39	松村牧場「香り豚」及び肥育堆肥を活用した提携農家米の加工・小売・レストラン販売事業	養豚事業者が、食品加工・外食産業などの店舗経営にノウハウを有する事業者をパートナーに会社を設立し、自社肥育豚肉を主原料とし地域の食材も活用したレストラン・小売店の店舗展開を行い、経営の安定と地域の活性化を図る。	RRHカンパニー株式会社			埼玉県	加須市	平成28年1月
40	紀州南高梅を用いたカリカリ梅加工品の新商品開発及び販路開拓事業	弊社社長が生産する南高梅を用いて、カリカリ刻みシソ梅、カリカリ刻み梅、カリカリ梅、カリカリ梅ピロー袋入りを開発する。具体的には、みなべの南高梅農家が生産から販売まで一貫して行う事を強みに、梅農家が作った梅加工品をPR材料として、開発・製造し、当社の取引先及びスーパー等の新規の取引先の開拓で、所得の向上を目指す。	株式会社紀州本庄うめよし			和歌山県	日高郡 みなべ町	平成28年1月
41	イチゴといちじく及び地元農産物を活用したスイーツ・ピザの製造・販売事業	自社生産のイチゴ・いちじく及び地元産の野菜・鶏卵を活用したスイーツ・ピザを製造する。冬期は観光農園にイチゴ狩りに来園されるお客様に対し販売し、夏場の閑散期には、新規顧客開拓と販売で売上の拡大、収益性の向上を目指す。 また、加工用として冬イチゴの他に新たに夏イチゴの栽培にも取り組み周年をとおし加工用イチゴの生産を確保する。	株式会社 ちくしの農園			福岡県	筑紫野市	平成28年1月
42	自家配合飼料で飼育する肉豚を、自社ブランド豚肉として商品化する加工製造とその商品の販売事業	自社で生産した「肉豚」を原料として「枝肉」「精肉」「精肉加工品」を委託製造し販売する。製造する商品については、「大村　日岳豚（おおむら　ひだけぶた）」のブランド名で販売し、「枝肉」は地元の食品製造業者へ卸売、「精肉」「精肉加工品」については地元のスーパー及び直売所で直売を行う。 この取り組みにより増収増益を図り経営改善を進めるとともに、雇用の拡大を図る。	株式会社 上野養豚			長崎県	大村市	平成28年1月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
43	米・もち米・野菜を原材料とした米粉・もち・漬物の製造・販売事業	自ら生産する米、もち米、キュウリ、ダイコンを原材料として「米粉」「もち」「キュウリのぬか漬」「たくあん」の製造を行い、大手スーパーへ販売する。 本事業は、自ら生産する米・もち米・キュウリ・ダイコンを利用した高付加価値商品を開発・製造・販売することにより、農業経営の収益構造改善と経営の安定化を図るとともに、農産物の販売先であるスーパーで手作り加工品の販売が好調であることを踏まえた、消費者のニーズを捉え需要を開拓する計画。	株式会社 安心院米穀店			大分県	宇佐市	平成28年1月
44	自社生産の米穀を利用したスマイルケア食の開発、販売事業	自社で生産する香りや栄養価等の特徴をもった数種類の新形質米及び新潟県特別栽培農産物の認証を受けたコシヒカリを用いて、高齢者等向けに食感のあるスマイルケア食として、「おかゆレトルトパック」を開発し、高齢者等の施設や在宅介護高齢者等をターゲットに、卸売、直接販売及びインターネット販売を行う。また、平成32年を目標にスマイルケア食と総菜をセットにした配食事業に参入し、スマイルケア食の需要拡大に取り組むことにより、経営の改善及び安定を図り、地域活性化のため、雇用の創出を目指す。	農事組合法人 螢の里			新潟県	上越市	平成28年2月
45	自家生産の大根の加工品（漬物）「山内いぶり大根漬け」の新商品の開発と販売	自組合生産のだいこんを用い、添加物を使わない、食べ切り・使い切りサイズや味のバリエーションを増やした新商品（山内いぶり大根漬けミニ、山内いぶり大根漬けスライス、山内いぶり大根漬けキムチっこ）を開発し、卸売販売、ネット販売を行うことにより、農業収入の増大、雇用の場の創出を図る。	農事組合法人 山楽里			秋田県	横手市	平成28年2月
46	地場産農産物の枝豆、トマト等を用いた農家レストランメニューの開発・販売	組合員が生産する枝豆、トマト、ブルーベリー、巨大胚芽米（金のいぶき）を用いて低カロリーで栄養をバランス良く摂取できるレストランメニューを開発し、開設する農家レストランで提供することにより、経営の多角化・安定化を図り、地域農業の活性化と所得向上等を目指す。	秋田おばこ農業 協同組合			秋田県	大仙市	平成28年2月
47	米（つや姫）、トマト、小松菜を活用した、プレミアムシリアルと離乳スイーツの開発及び販売	自家生産の特別栽培米「つや姫」とトマト・小松菜の規格外品を用いたプレミアムシリアル「ライスグラノーラ」と、特別栽培米「つや姫」を用いた離乳スイーツ「さいしょのお米」を開発し、百貨店のイベント出店等での販売や顧客への販売等を行い、米の付加価値化と規格外品の活用により、所得の向上と雇用の創出を図る。	井上農場 井上　馨			山形県	鶴岡市	平成28年2月
48	各務原にんじんを活用した加工商品の開発・販売事業	規格外品を使用し、特徴のあるにんじん加工品を開発、販売することで、経営の安定化を図り、にんじん加工品のラインナップを充実させることで、販売チャネルを新たに開拓し、各務原にんじんの知名度向上・ブランド化を進め、経営の多角化・高度化を図り、当社の経営基盤を強化し、売上向上を目指していく計画。	株式会社フォレストファーム			岐阜県	各務原市	平成28年2月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
49	自家栽培大豆を使用した商品の開発・加工・販売事業	今まで活用できていなかった大豆を有効利用し、豆腐、おからスコーン、気になるお菓子、豆味噌、豆乳プリンの開発・製造を行う。新たな販売ルートを構築することにより、既存ベーカリー事業との相乗効果を発揮し、農業経営の拡大を図る。	有限会社大地			愛知県	豊田市	平成28年2月
50	浦村牡蠣の旬の旨味を封じ込めた加工製品及び藻類、魚介類等の加工製品の開発・販売事業	現在、牡蠣の養殖及び焼き牡蠣小屋経営しているが、牡蠣の良さをさらに広めるため、加工品の開発・販売をしていく。 　また、現在養殖している牡蠣は真牡蠣であるが、旬が夏の岩牡蠣の養殖し付加価値のある商品開発をしていく。	山下　栄造 （やま栄水産）			三重県	鳥羽市	平成28年2月
51	伊勢一の宮 椿大神社の参道で、鈴鹿山麓の茶産地で栽培したお茶の直販・卸売とカフェ事業	現在では4haの茶畑を栽培しているが、29年から5haに拡大する。連携している㈲緑粋園で荒茶加工し、椿大神社の参道に面する所有の土地にカフェを併設する直売所を建設し、直売を行う。	株式会社 椿茶園		有限会社 緑枠園	三重県	鈴鹿市	平成28年2月
52	養液栽培したいちごとブルーベリーを利用した商品の加工・販売事業	養液栽培したいちごのジュース、ジャム、ソフトクリームやかき氷などの菓子類の開発・販売、ブルーベリーのドリンクを開発・製造・販売を行う。 　また、ブルーベリーといちごの果実を、ドライフルーツ加工し、あられの原材料など新たな商品開発を行い、当社のブルーベリーといちごの知名度向上及びブランド化を図る。	株式会社 いのさん農園			三重県	津市	平成28年2月
53	清水白桃コンポートの製造販売	本事業では、100年の歴史のある当園で生産した、ブランド品の清水白桃の規格外品のみを使用し、収穫後できるだけ早く加工することで型崩れしない、高鮮度の清水白桃コンポートの製造・販売に取り組み、売上げの向上及び経営の安定を図る。	株式会社 宝実園		株式会社フルーツランド岡山	岡山県	岡山市	平成28年2月
54	ゆずの搾汁後の果皮残渣を活用した加工品（精油）の開発、製造及び販路開拓	化学肥料、化学農薬、除草剤を一切使用しないで栽培したゆずを、本事業で整備する精油加工場において、自ら高品質かつ効率的なゆず果皮精油の製造し、販路の開拓を行う。この取組により、組合員の所得の向上を図ると共に、生産面積の拡大、耕作放棄地の減少、及び新たな雇用の創出を図る。	えひめ南 農業協同組合			愛媛県	宇和島市	平成28年2月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
55	ティーバッグ専用茶の開発・加工販売事業	自社及び地域生産農家で生産している茶葉を原料とし、1次加工の段階でティーバッグ専用茶の製造を可能とする新ラインを開発するとともに、契約先に卸す商品を現在の「荒茶」から「ティーバッグ専用茶」にすることで収益性の向上を目指す。 この事業を行うことで、加工施設の整備により加工時間の短縮、コスト削減はもとより、環境へ配慮した衛生的な施設運営が可能となる。	株式会社 濱野製茶			熊本県	球磨郡 相良村	平成28年2月
56	自然循環農法で栽培した野菜、米、小麦、大豆、とうもろこしを使った加工品の製造・直接販売事業	出資者が栽培方法にこだわって生産した野菜、米、小麦、大豆、とうもろこしを活用した米粉、小麦粉、きな粉、とうもろこし粉、味噌および饅頭、漬物を製造し、直売所および宅配により消費者に直接販売を行う。 この事業は、高付加価値商品を製造・販売することにより、売上の拡大、収益性の向上を図る。 また、地域の農家を新たに出資者として参画させることにより、地域農家の所得の向上と地産地消の拡大を目指す計画。	株式会社 むかし野菜の邑			大分県	大分市	平成28年2月
57	自ら養殖したクロマグロの加工・販売事業	自社で養殖するクロマグロのブロック加工を行い、鮮魚卸等に卸売販売する。 この事業は、自社原料、産地加工の強みを生かし、冷凍品ではなく、生鮮状態で流通できる体制を整えることにより、年間を通じた安定供給を行うことで需要開拓と販路確立を図る計画。	西南水産 株式会社			大分県	佐伯市	平成28年2月
58	甘藷、トウモロコシを利用した商品の加工・販売事業	自社で生産した甘藷、トウモロコシを用いて、冷凍焼き芋、冷凍蒸しトウモロコシを開発製造する。製造する商品については、東京のスーパーへの卸売を中心に直売所、道の駅で直売を行う。 この取り組みにより経営の多角化を図るとともに農業生産の拡大、所得の向上、雇用拡大を図る計画。	農事組合法人 芦刈農産			大分県	豊後大野市	平成28年2月
59	自社生産した高糖度トマトのインターネット販売及び加工品の製造委託・販売事業	自ら生産する高糖度トマトを利用しトマトピューレの商品開発・委託製造販売を行うことにより経営の多角化を図るとともに、規模拡大による生産の増加、青果のインターネット販売及び郵便局の「ふるさと小包」の活用により顧客の拡大を図る。 これらの取り組みは、県内外の消費者をターゲットとした高糖度トマトの販売と規格外品の有効活用を通じて、所得の向上と雇用の拡大を図る計画である。	株式会社 新門トマト農園			宮崎県	東臼杵郡 門川町	平成28年2月
60	国際リゾートNISEKOの外国人観光客をターゲットとした、ヴィニフェラ種ぶどうを使用したオーガニックワインの醸造・販売事業	自社にワイナリーを開設し、自社有機認証圃場で栽培するワイン用ぶどうを原料とし、ヴィニフェラ種のオーガニックワイン（有機農産物加工酒類）を醸造し、国際リゾートNISEKOの外国人観光客をターゲットに販売することにより農業所得の向上を図る。 また、自社ワイナリーを運営する中で、ワイン用ぶどうの生産やワイナリーの開設を目指す若者等を雇用し、就農支援を行うことにより地域農業の持続と食を通じた地域経済の活性化を図る。	羊蹄グリーンビジネス株式会社			北海道	ニセコ町	平成28年3月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
61	新鮮な生乳を使用したドリンクヨーグルトの加工・販売事業	大友牧場の新鮮な生乳を原料とした新商品、ドリンクヨーグルトの製造・販売を行う。 既存商品（ナチュラルチーズ、ピザ）に新商品を加えて商品ラインアップを充実させることで、大友牧場及びおおともチーズ工房双方の経営安定化を図る。 新商品は、既存販路（北海道の物産と観光展、大手商社など）の活用や商談会等への出展により販路を確保・拡大。	株式会社 おおともチーズ 工房			北海道	厚岸郡 浜中町	平成28年3月
62	寿司製造業者向けに、寿司に適した品種を栽培し、店の好みのブレンドを行い、精米を販売する事業	自社生産の精米を寿司店ごとのニーズに応じてブレンドを行い、地域の寿司店や県外の寿司製造業者に直接販売を行うことにより、米の付加価値化と農業経営の改善を図る。	株式会社吉田 ファーム			宮城県	石巻市	平成28年3月
63	自社生産のミネラル栽培による米の少量パックとまるもちの新商品の製造・販売	自社生産の米を用いて精米の少量パック、かわりごはんセット、まるもちを開発し、精米の少量パックは冠婚葬祭や企業の販促品向けとして販売、まるもちは百貨店等への販売やネット販売を行うことにより、所得の向上と雇用の創出を図る。	株式会社ライズ・ イン			山形県	鶴岡市	平成28年3月
64	自家生産のこだわり卵を生かした「スイーツ＆デリカ」の開発・販売による卵の魅力発信拠点構築事業	顧客から「お土産」として加工品のニーズがあったことから、自社で生産する高級卵「磨宝卵GOLD」を用いた新商品（プリン、たまごタルト、マヨネーズ、卵焼き）の開発・販売を行い、女性を中心とした若年層の新規顧客獲得を目指す。 また、既存直売所をリニューアルし、新商品のほか地域農産物等の直売も併せて行い、魅力ある商品販売を展開することにより、自社の知名度・ブランド力を高め、農業経営の更なる向上、雇用の拡大及び地域の活性化を図る。	有限会社卵明舎			栃木県	宇都宮市	平成28年3月
65	自社産ソバ・野菜等を利用した新商品の製造・販売及び農産物の直売コーナーを併設したレストラン営業事業	自社（出資農業者を含む）が生産するソバや自社及び近隣農業者が生産等する野菜及び山菜類を用いて、新たに整備する「蕎麦レストラン」において、「蕎麦」「惣菜」「蕎麦スィーツ」を提供するとともに、レストラン内において、「惣菜」「そば粉」「野菜」を直売する。 また、自社産のコメを用いて、精米、赤飯等のおこわを卸売、直売する。 この取組により、農業所得の向上と雇用の創出を実現することにより地域の活性化を図ることを目標とする。	株式会社 A・ファーム雪の 十日町			新潟県	十日町市	平成28年3月
66	農薬・化学肥料を使用せず栽培したハーブを使ったエッセンシャルオイル（精油）の製造・販売事業	平成28年春の「観光ハーブ農園」オープンに向け、エッセンシャルオイルを開発し、取扱商品の幅を広げる。農園での商品の効果等を紹介する講習会や実演を実施することにより、収益性の改善を図る。	剛谷久美 （ハーブ農園リッコ）			愛知県	知多郡 南知多町	平成28年3月

六次産業化・地産地消法に基づく
認定総合化事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月
			申請者	共同申請者	促進事業者			
67	自社栽培の広島県産大葉を使用した新商品の開発及び販売	本事業では、中国四国地方最大規模の大葉生産農家の強みを活かし、自社生産の大葉を原料とした付加価値のある加工品「大葉味噌」、「大葉塩だれ」、「大葉ときゅうりのキムチ」、「大葉茶」、「大葉石鹸」等の商品を開発、製造し、中国四国内のチェーンストアなどへ販路の拡大を行い、経営の安定化を図る。	株式会社 出来商店			広島県	呉市	平成28年3月
68	連島れんこんを使ったドレッシングの製造販売と直売スペースの開設	自ら生産したれんこんの商品外を活用し、れんこんドレッシングの商品開発及び製造・販売を行う。 顔の見える販売へのニーズが高まっていることから、自社内に直売スペースを開設し、新たな販売ルートの開拓を行い、売上げの向上を目指す。	髙橋農産 株式会社			岡山県	倉敷市	平成28年3月
69	自社栽培の茶葉を使用したスイーツ等新商品開発・販売事業	約7haで10品種のお茶を栽培し、緑茶及び美作地方の特産品「日干番茶」を製造。 本事業において、自社製造の「日干番茶」を原材料とした、メレンゲクッキーとジェノベーゼ風パスタソースの商品開発及び製造・販売を行うことにより、売上の向上を目指す。	有限会社 海田園黒坂製茶			岡山県	美作市	平成28年3月
70	自社生産の柿を活用した新商品開発・販売事業	当農園で生産した規格外品の柿を活用した「あんぽ柿」と「柿ヨーグルトドレッシング」の商品開発及び製造・販売を行い、当農園のブランディングを高め、所得の向上をめざす。 当農園が6次産業化に取り組むことで、地域商品のPRに繋がる等、地域への波及効果及び果樹栽培生産者への収益向上のモデルとしても寄与する。	有限会社 田中農園			岡山県	津山市	平成28年3月
71	健康志向の消費者を対象とした、乾燥野菜シリーズとエディブルフラワー商品の製造・販売	自ら生産するピーマン、なす、さつまいも、大根、ゆず、エディブルフラワーの余剰生産分を活用し、乾燥野菜シリーズ及びフラワーソルトの商品開発を行うことで、商品の付加価値を高めることができ、収益性の向上を図る。 このことにより、売上げの向上及び農林漁業及び関連事業の所得を向上させるとともに、新たにパート従業員の雇用を創出する。	よしむら農園			高知県	高知市	平成28年3月
72	糸島市及び福岡市の酪農家の生乳を使用した新商品開発・製造・販売及び販路拡大事業	酪農家（出資者）から集乳した生乳を使った新商品（牛乳・ヨーグルト・ジェラート・ソフトミックス・ソフトクリーム・ロールケーキ・ミルクパン・シュークリーム・プリン）を生乳の車両運搬時間30分圏内（最短5分）の位置に加工施設を整備し、付加価値の高い新商品の開発・製造・加工直販及び卸売りを行う。 この事業により経営の多角化及び商品の高度化を図り、更なる販路の拡大を行うことで、出資酪農家の生乳の消費拡大と新工場施設における地域雇用の拡大及び自社経営の安定化を図る取り組み。	株式会社 糸島みるくぷらんと			福岡県	福岡市	平成28年3月